



《 報道関係者お問い合わせ先 》

特別展「鳥」広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 E-MAIL：tori@tm-office.co.jp

開催趣旨

大阪市立自然史博物館は、日本経済新聞社、テレビ大阪と共催で2026年3月14日(土)から6月14日(日)まで、**特別展「鳥 〜ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統〜」**を開催します。

本展では、ゲノム解析による研究で明らかになった最新の系統分類をもとに、鳥類に特有な体の構造や生態を紹介しながら、鳥たちの多様な進化を解説します。また、「大阪湾岸、鳥たちの生活の場であり続けるために」と題した大阪展限定の展示も行います。渡り鳥の重要な中継地であり水鳥の貴重な繁殖地である大阪湾で、鳥たちが命を繋ぐこの地の現状と行方を解説します。大人から子どもまで、鳥のすべてを楽しく学べる展覧会です。

(標本写真は表記のないものは全て「所蔵・国立科学博物館」)



ディノニクス/獣脚類



シマエナガ/スズメ目

特別展「鳥」みどころ①

400点以上の標本が集結する、圧巻の特別展！

国立科学博物館の「現生鳥類研究者」と「古生物研究者」が連携し、鳥類の大展覧会を作りあげました。

古今東西の身近な鳥から、珍しい鳥、絶滅してしまった鳥、かわいすぎる鳥、個性的な鳥…、多種多様な世界中の鳥たち400点以上の標本を集めた圧倒的なボリュームで展示を構成、鳥マニアはもちろんのこと、鳥にあまり詳しくない方たちにも、鳥の魅力が伝わること間違いなしの展覧会です。

400種以上の鳥を観察したことがあれば、バードウォッチャーのなかでもかなりの経験者といわれる中、一生分!?を超える標本点数が集結します。



オウギバト/ハト目



ヒクイドリ/ヒクイドリ目



チャミミチュウハシ/キツツキ目

特別展「鳥」みどころ②



オオハナインコ／インコ目



オオタカ／タカ目



ハヤブサ／ハヤブサ目

最新の研究成果にもとづき 新たな視点で鳥類へアプローチ！

「ハヤブサはタカよりもインコに近い仲間？」「北半球と南半球の鳥は系統が違うのに、なぜそっくりに進化した？」など、鳥類の進化に対して、ゲノム解析の視点からアプローチ。分類学上の「目」ごとに会場全体をレイアウトし、**ゲノム解析をもとにした、系統や生態に関する最新の研究成果**を通して、鳥類を紹介します。

特別展「鳥」みどころ③



ペラゴルニス・サンデルシ生体復元モデル

見応えある企画が満載！ 5つの「特集」と 23の「鳥のひみつ」 初公開の「生体復元モデル」で 鳥類を深掘り！

本展では、「絶滅」「翼」「猛禽」「ペンギン」「フウチョウ」の5テーマに集中して展示をおこなう「特集」コーナーや、「サギ類の多様な採食方法」「カッコウの托卵で宿主は滅びないのか？」など鳥の特徴的な生態に関するトピックを、23の「鳥のひみつ」コーナーにて解説。興味深い鳥の世界をより深く解き明かしていきます（一部パネル展示のみ）。美しい羽根をもつ「フウチョウ」は、**名古屋展で展示できなかった3種も復活し、**

合計12種もの標本が集まる貴重な機会となります。

また、**史上最大級の飛ぶ鳥「ペラゴルニス・サンデルシ」の生体復元モデルを日本初公開で展示**します。現生の飛ぶ鳥で最も大きな「ワタリアホウドリ」の2倍以上で、翼を広げた長さが7mに達した「ペラゴルニス・サンデルシ」の生体復元モデルは見応え抜群です。



フキナガシフウチョウ／スズメ目



カタカケフウチョウ／スズメ目



コウテイペンギン／ペンギン目

特別展「鳥」みどころ④

**国立科学博物館をはじめ、
各科学館所蔵のコレクションから、
すでに絶滅してしまった種や絶滅危惧種のはく製、
普段は公開していない貴重な標本を展示**

すでに日本では絶滅してしまった「キタタキ」や「トキ」、絶滅危惧種の「フィリピンワシ」「ヤンバルクイナ」などの標本を展示し環境保全の重要性を考えます。

また、ゲノム解析による研究の結果、**2021年に新しく日本固有種と認められた「キジ」「ホントウアカヒゲ」「オリヤマガラ」「オガサワラカワラヒワ」**

「リュウキュウサンショウクイ」を揃って展示。

まとめて観察できる貴重な機会をお見逃しなく。



キタタキ/キツツキ目
所蔵・姫路科学館



オガサワラカワラヒワ/スズメ目



キジ/キジ目

特別展「鳥」みどころ⑤

大阪展限定！

「大阪湾岸、鳥たちの生活の場であり続けるために」

渡り鳥の重要な中継地であり、水鳥の貴重な繁殖地である大阪湾。

鳥たちが命を繋ぐこの地の現状と行方を、**大阪展限定で解説します。**



夢洲コアシサシ繁殖地



ツバメチドリ（関空2期島調査時）



カモメ類大群（明石海峡大橋）

SNSで話題沸騰のイラストレーター・ ぬまがさワタリさんとスペシャルコラボ！

動物の生態イラストで人気のぬまがさワタリさんが、「鳥のひみつ」コーナーと大阪展限定展示の解説パネルを描き下ろし！分かりやすいイラストで鳥の意外な生態を解説します。**名古屋展ではスペースの関係で展示できなかったイラストも大阪展で復活！**東京展を見逃した人にもおすすめです（一部パネル展示のみとなります）。



<コメント>ぬまがさワタリさん（イラストレーター・作家）

このたびは東京、名古屋に続き大阪でも地球で最もすばらしい動物である「鳥」の生き様を紹介させてもらうという、たいへん光栄な機会に感謝！カワセミさま（敬称）のイラストから出発したクリエイターとして「鶴の恩返し」ならぬ鳥への恩返しができるよう、想像の翼を全力ではためかせました。展示の隅々まで「鶴の目鷹の目」で堪能してください！



音声ガイドは、レイザーラモンRGさんと 高柳明音さんの鳥好きコンビが担当！

本展の音声ガイドナビゲーターは芸能界きっての鳥好きが担当。バードウォッチングが趣味の芸人・レイザーラモンRGさんと、鳥好きで専門誌にも連載を持つ女優/タレント・高柳明音さんのコンビが出演します。鳥の魅力を熱弁する2人の掛け合いは、きっと誰もが鳥の魅力に引き込まれること間違いなし！

<プロフィール>レイザーラモンRGさん（芸人）

1997年よりレイザーラモンHGとお笑いコンビ「レイザーラモン」として活動。いち早く世間を切り取ったモノマネと、どの分野でも「あるある」という共有項を見つけるネタが話題。プロレス、スニーカー、バイク、バードウォッチングと幅広い趣味に精通している。



<プロフィール>高柳明音さん（女優・タレント）

2009年にSKE48のメンバーとしてデビューをし、2021年4月にグループを卒業。現在は女優業を中心に、マルチに活躍中。大の鳥好きで、趣味のカメラで自ら鳥の撮影も。野鳥専門誌「BIRDER」での連載や、NHKBS「イロトリドリ！探鳥絶景旅」への出演も話題に。



特設ショップ 販売グッズラインアップ (一部)

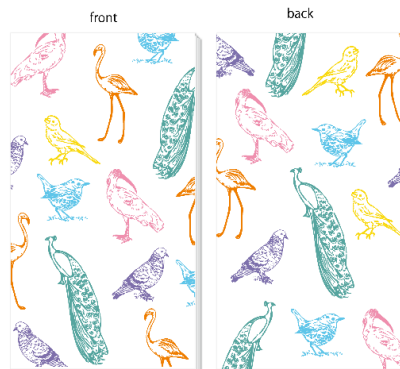
+++++

※画像はイメージです。

※商品ラインアップ、商品名、価格、デザイン、仕様などは変更になる場合がございます。

※価格は税込みです。

※在庫状況により、販売を終了する場合がございます。



プリントクッキー／756円

お土産にぴったり！本展オリジナルのクッキーです。

スリムノート (色とりどり) ／660円

コマドリ(ロビン)、鳩、カナリア、鴝、フラミンゴ、孔雀がデザインされたノートです。

開催概要

+++++

名 称：特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」

会 期：2026年3月14日（土）～6月14日（日）

※開幕日前日（3月13日）に内覧会（プレス向けおよび一般向け）を実施

休 館 日：月曜日・5月7日（木）ただし3月30日（月）・5月4日（月・祝）は開館

開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

会 場：大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23

主 催：大阪市立自然史博物館、日本経済新聞社、テレビ大阪

特別協力：国立科学博物館

後 援：日本鳥学会、日本鳥類保護連盟、日本野鳥の会、山階鳥類研究所、

大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会

協 力：我孫子市 鳥の博物館、群馬県立自然史博物館、信州大学、帝京大学、姫路科学館、

兵庫県立 人と自然の博物館、弘前大学、ミマキエンジニアリング、

日経サイエンス、日経ナショナル ジオグラフィック

入 場 料：当日券 大人1,800円、高大生1,500円、小中生700円

前売券・団体券 大人1,600円、高大生1,300円、小中生500円（いずれも税込）

その他、企画チケットもあり

※未就学児は入場無料。

※高大生は要学生証。

※上記特別展入場料で、大阪市立自然史博物館常設展も入場可能（当日限り）

※障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名含む）は無料（要証明書）

※団体料金は20名以上

公式サイト：<https://toriten.exhn.jp/>

お問い合わせ：大阪市総合コールセンター（なにわコール）06-4301-7285

受付時間／8：00～21：00（年中無休）

《 報道関係者お問い合わせ先 》

特別展「鳥」広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 E-MAIL：tori@tm-office.co.jp